

第1回高遠ブックフェスティバル

取り組みに至る背景・事業の目的

歴史と伝統のある高遠の町において、「ブック・ツーリズム」（本を要とする観光スタイル）、を確立させる取組、また高遠城址公園の桜以外のツールでも観光客を集め、過疎・高齢化が進む地域商店街の活性化を図るきっかけとして、「第1回高遠ブックフェスティバル」を開催する。

事業内容

- 「第1回高遠ブックフェスティバル」を開催（8/29・30）
 <主な開催イベント>
 - ・全国の古本店による即売会の開催
 - ・直木賞作家、角田光代さんによるトークイベント
 - ・「本の町」シンポジウム
 - ・ピアノと朗読コンサート
- ブックフェスティバルと連動し、周辺農家の農産物直売や家庭料理の提供など、地元の方々も参加



【トークイベントの様子】

事業効果

- 期間中の来場者：およそ2,500人（目標の2.5倍）
- テレビやラジオ、新聞におけるイベントとしての報道の他、地域経済の活性化という視点からの報道もあり、幅広い観点から注目を集めることとなった。
- 地域の子どものイベントへの参加や、地元製品の販売、地元住民による料理の提供など、地域との交流も促進された。
- 出店した店舗だけでなく、地域商店街の店舗においても予想を超える売り上げがあるなど、地域経済にも大きな波及効果がもたらされた。



【路地裏にも本棚が並ぶ街】

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 当初の予想を超える反響を得た一方、来場者アンケートなどを通して見つかった課題について、第2回以降の事業に反映させていく。
- 「第1回高遠ブックフェスティバル」を一過性のお祭りに終わらせることなく、普段の高遠の町を「本の町」としていくためのアピールを続けていくため、地域の住民や組織を緊密な連携を図りつつ、外部への宣伝を有効に行うとともに、通常時の地道な街づくりを実施していく。

【選定のポイント】

本によるまちづくりという日本でも初めての取り組みで、情報誌にも取り上げられ、県内外から多くの人を集め、地域イメージの向上が図られ観光振興につながった事業である。

今後も、ボランティアや地域住民と協働したイベント等を開催しながら、多くの観光客が訪れるまちづくりに期待ができる。

団体名 高遠ブックフェスティバル実行委員会（伊那市） 連絡先 ホームページ http://takatobookfestival.org/ メールアドレス info@takatobookfestival.org	事業タイプ ソフト事業 事業費 5,601,683円 支援金額 4,956,000円
---	--